

令和3年度大学連携事業実績

No.	大学名	事業名	概要	担当課
1	茨城キリスト教大学	日立市・茨城キリスト教大学連絡協議会連携事業「学生プロジェクト」	<p>学生が主体的に取り組む、地域の課題解決や活性化をテーマとした調査・研究活動に支援を行った。</p> <p>【実施プロジェクト】</p> <ol style="list-style-type: none"> スマイル・ライフ・サポート～地域住民との交流・栄養相談の場の提供～ 日立市における2025年問題の解決策に関する提案－高齢者が活躍できる地域社会の構築を目指して－ Hitachi e-sports project ワクワクする常陸多賀駅前商店街推進計画 ポストコロナ・アフターコロナを見据えたまちづくりに関する提案 若者が活躍する日立市づくりへ向けて よかつままちづくりプロジェクト～老若男女が集う常陸多賀駅に～ 	政策企画課
2	茨城キリスト教大学	市報の学生モニター	<p>市内大学の学生による市政取材・市報記事作成を行うことによって、若い世代にも身近に感じられる市報の紙面づくりを進め、広く市政に関心を持ってもらうきっかけとした。</p> <p>【市報掲載内容】</p> <p>2月5日号市報「学校給食について」</p>	広報戦略課
3	茨城キリスト教大学	経営学部経営学科「経営特講Ⅰ」への講師派遣	<p>茨城キリスト教大学経営学部経営学科「経営特講Ⅰ」の講師として、職員4名を派遣した。</p> <p>【講義内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 日立市のシティプロモーションについて 日立市の防災対策について 日立市の若者支援政策について 日立市の地域交通政策について 	人事課
4	茨城キリスト教大学	日立市職員「グローバル・イングリッシュ研修」の実施	<p>“外国人にもやさしい市役所”を目指し、主に外国人と係わる職場の職員を対象として、茨城キリスト教大学との連携による英会話力向上研修「グローバル・イングリッシュ研修」を実施した。研修では、同大学の日本人教員及び英語母語話者教員2名によるティーム・ティーチングによる指導を受けた。</p> <p>【講義内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> おもてなしコース 諸手続き等のため市役所を訪れる外国人に対し、円滑な対応（おもてなし）ができる能力を身に付ける。 PRコース 外国人との交流において、市の事業や観光などを英語で情報発信できるようになることを目的とする。 	人事課
5	茨城キリスト教大学	女性の人材育成事業「1day女性カレッジ」	<p>茨城キリスト教大学の講師を招き、心理学の視点から、女性が地域や市政へ円滑に参画するための技術を体得するための講座を開催した。</p> <p>【講座題目】</p> <p>「自分に自信をもつためのこころの磨き方」</p>	女性若者支援課
6	茨城キリスト教大学	女性の就業支援講座「子どもにかかわるお仕事探検講座①」	<p>育児中の女性の活躍を推進するため、保育園及び認定こども園の待機児童解消に向け、保育士資格を持ちながら保育現場で勤務していない者や、子どもや保育に関する資格や就業に関心のある者に対し、保育現場を知る機会を提供し、関係する職への就業を支援した。</p> <p>【講座名】</p> <p>「子どもを知ろう」</p>	女性若者支援課
7	茨城キリスト教大学	女性の就業支援講座「子どもにかかわるお仕事探検講座②」	<p>育児中の女性の活躍を推進するため、保育園及び認定こども園の待機児童解消に向け、保育士資格を持ちながら保育現場で勤務していない者や、子どもや保育に関する資格や就業に関心のある者に対し、保育現場を知る機会を提供し、関係する職への就業を支援した。</p> <p>【講座名】</p> <p>「子どもの健康と安全確保」</p>	女性若者支援課
8	茨城キリスト教大学	日立市男女共同参画に関する大学生アンケート調査	<p>第4次ひたち男女共同参画計画策定にあたり、大学生世代を対象とするインターネット調査を行い、男女共同参画社会の形成促進に必要な情報収集を行った。</p>	女性若者支援課

令和3年度大学連携事業実績

No.	大学名	事業名	概要	担当課
9	茨城キリスト教大学	資格取得準備講座	茨城キリスト教大学の講師を招き、TOEICテストのスコアアップや目標スコアを達成するため、TOEICテスト形式の問題を通して効率よく学習する方法を学んだ。 【講座題目】 「TOEIC®L&Rテスト対策～ひとりでも続けられる学習メソッド」	女性若者支援課
10	茨城キリスト教大学	健康講座	茨城キリスト教大学の教授を招き、健康維持に大きな役割を果たす腸内細菌について種類や性質等を学んだ。 【講座題目】 「健康講座 腸内細菌を知ろう！」	女性若者支援課
11	茨城キリスト教大学	日立市巡回支援専門員整備事業	茨城キリスト教大学のカウンセリング子育て支援センターに所属する教員が、市内の保育園等の施設を巡回訪問し、障害が気になる児童への対応について保育士等に対して助言等の支援を行った。	障害福祉課
12	茨城キリスト教大学	第2回発達段階に応じた親の学び講座	1歳から3歳児の保護者を対象に、子どもの発達段階に応じた親の学びの場を提供し、家庭における親と子の関わり方等、保護者が抱える育児不安の軽減等を図るために開催した。 【講座題目】 「『子育ては楽しい』は本当？－発達心理学から言えること－」	子どもセンター
13	茨城キリスト教大学	ともそだち講演会	保護者を対象に、子どもの発達段階に応じた親の学びの場を提供し、家庭における親と子の関わり方等、保護者が抱える育児不安の軽減等を図るため、「ともそだち講演会」を日立市公式YouTubeチャンネルにて配信した。 【講演題目】 「子育ての中で感じる『私』のストレスと上手に付き合おう！」	子どもセンター
14	茨城キリスト教大学	第3回発達段階に応じた親の学び講座	3歳児から小学3年生及びその保護者を対象に、子どもの発達段階に応じた親の学びの場を提供し、家庭における親と子の関わり方等、保護者が抱える育児不安の軽減等を図るために開催した。 【講座題目】 「子育てとコーチング」	子どもセンター
15	茨城キリスト教大学	常陸多賀駅周辺地区整備事業（まちづくり出前講座）	常陸多賀駅周辺地区整備事業の周知を図るとともに、駅周辺施設整備を契機とした賑わいの創出と持続可能なまちづくり体制構築のため、意見交換等を行った。	常陸多賀駅周辺地区整備担当
16	茨城キリスト教大学	「やさしい日本語コミュニケーション」への協力	やさしい日本語を用いて観光チラシを作成する授業において、観光地の紹介や学生作成したチラシへの講評を行った。	観光物産課
17	茨城キリスト教大学	日立市いじめ調査委員会	日立市いじめ調査委員会を開催した。 【内容】 「重大事態についての協議」	指導課

令和3年度大学連携事業実績

No.	大学名	事業名	概要	担当課
18	茨城キリスト教大学	教育ボランティア支援事業	茨城キリスト教大学、茨城大学に教育ボランティア募集案内の協力を依頼し、応募した学生を採用した。学生は日立市内の市立幼稚園、認定こども園、小学校、中学校、特別支援学校で学習指導の補助等のボランティア活動を行った。	指導課
19	茨城キリスト教大学	緊急学校教育活動支援事業（有償ボランティア）	新型コロナウイルス感染症対策のため学校現場で新たに必要となった消毒作業等の業務に対応する有償ボランティアを募集し、学校に配置した。大学生の参加者を募ることで、アルバイト収入が減った学生の生活を支援した。	指導課
20	茨城キリスト教大学	2022年度茨城キリスト教大学看護学部地域特定推薦	茨城キリスト教大学が、看護学部看護学科入学試験において、地域の保健・医療・福祉に貢献する人材を養成することを目的とし、地域を指定し、推薦枠を設けて入学試験を行うことから、日立市は指定を受けている推薦枠について推薦を行った。	指導課
21	茨城キリスト教大学	たがとしょかんこどもまつり	秋に開催している「たがとしょかんこどもまつり」の中で、茨城キリスト教大学サークル「TanPoPo」に所属する学生の協力を得て、幼児向けの「人形劇」を開催した。	多賀図書館
22	茨城キリスト教大学	読み聞かせ講座	茨城キリスト教大学の教授を講師に迎え「読み聞かせ講座」を市民向け（絵本の読み聞かせに関心のある方）を対象に講座を開催した。 【講座題目】 「読み聞かせ講座 はるかな世界への旅～大きい人のゆったり絵本タイム」	南部図書館
23	茨城キリスト教大学	ひたち市民カレッジ	市民の学びをまちづくりにつなげることを目的として、市の補助団体であるひたち生き生き百年塾推進本部と茨城キリスト教大学との共催による各種講座を開催した。 【内容】 まちづくり、一般教養、趣味と体験、仲間づくりに関する講座	生涯学習課
24	茨城大学	市報の学生モニター	市内大学の学生による市政取材・市報記事作成を行うことによって、若い世代にも身近に感じられる市報の紙面づくりを進め、広く市政に関心を持ってもらうきっかけとした。 【市報掲載内容】 2月20日号市報「子どもセンターについて」	広報戦略課
25	茨城大学	学習支援システム技術デモ	茨城大学の学生による卒業研究のシステム展示とデモンストレーションを行い、日立シビックセンターの来館者が学習支援システムを体験した。 【内容】 (1) 文字を美しく書く練習のためのシステム (2) 画像認識で身近な英単語を学習するシステム (3) 文字を美しく書く練習のためのシステム (4) 画像認識で身近な英単語を学習するシステム (5) LCDテーブルで光の反射のルールを学ぶシステム	日立シビックセンター
26	茨城大学	常陸多賀駅周辺地区整備事業	常陸多賀駅周辺地区整備事業の周知を図るとともに、駅周辺施設整備を契機とした賑わいの創出と持続可能なまちづくり体制構築のため、演習授業への参画やまちづくりについての意見交換、学生生活の支援等を行った。	常陸多賀駅周辺地区整備担当

令和3年度大学連携事業実績

No.	大学名	事業名	概要	担当課
27	茨城大学	産学官連携研究開発補助事業	県北地域中小企業が大学等と共同研究契約等と締結して実施する研究開発に係る経費を補助した。	商工振興課
28	茨城大学	AM事業研究会（県北地域牽引産業・中核企業創出事業）	AM（金属積層造形技術：アディティブマニファクチャ）を活用した新事業の展開を図る研究会を立ち上げ、セミナーの開催や活用方法の検討、試作等を行った。	商工振興課
29	茨城大学	地域中小企業と研究開発人材との人材交流のためのインターンシップマッチング支援事業（県北地域牽引産業・中核企業創出事業）	学生による地域中小企業へのインターンシップのマッチング支援を実施した。	商工振興課
30	茨城大学	「茨城学」への講師派遣	「茨城学」の授業において、「日立市・日立地区産業支援センターの取組」について講義を行った。	商工振興課
31	茨城大学	「地域協創PBL」への協力	「観光で地域資源の活性化を考える」の授業において、「日立市の観光振興」について講義を行った。 ※「地域協創PBL」：自治体や企業等で実地体験を行う等、茨城県における地域振興を実践的に学ぶ授業	観光物産課
32	茨城大学	動物園におけるサシバエの吸血生態に及ぼす環境及び動物の影響調査	飼育下の動物におけるサシバエによる吸血侵襲は、衛生管理及びアニマルウェルフェアの観点から大きな問題とされている。前年度調査において、サシバエの発生集中域がいくつか見られることや北園から南園へと移動していることが明らかとなった。今回は、発生源の特定と制御の観点から、園全体におけるサシバエの吸血実態を調査した。	かみね公園管理事務所
33	茨城大学	新ニホンザル舎における利用状況の季節変化と休息と気温の関係調査	新しくできたニホンザル舎を対象に暑熱期である夏と寒冷期となる秋の2期における獣舎の利用特性の評価とニホンザルの行動の変化を調査した。	かみね公園管理事務所
34	茨城大学	飼育下のサルにおけるロープの形状と高さによる利用頻度の相違	小型霊長類の獣舎内資材としてのロープに着目し、形状や設置する高さの違いによる活動状況の変化について調査した。	かみね公園管理事務所
35	茨城大学	動物の健康状態に応じた腸内フローラの構成と変化の調査	人間や動物の腸管内には多種多様な微生物が存在し、密接に宿主の健康に関係している。動物においても人間と同様に、宿主の健康状態に応じて腸内フローラが変化するのかを調査した。	かみね公園管理事務所

令和3年度大学連携事業実績

No.	大学名	事業名	概要	担当課
36	茨城大学	動物の排泄した糞から分離されるウェルシュ菌に関する研究	園内環境（獣舎、園路等）からウェルシュ菌の分離を試み、得られた菌株の遺伝子配列を解析し、昨年までに飼育動物の糞から分離された菌株と比較した。	かみね公園管理事務所
37	茨城大学	ウミウの食餌内容の解析	ウミウの糞から食べた魚の種類を特定し、それを経年的に比較することで、海の中での魚の生息状況、ひいては海の中の環境状態を類推し、海の環境保護に役立てたい。ウミウの糞から精製したDNAを利用して調べた。	かみね公園管理事務所
38	茨城大学	ウミウの遺伝的多様性の解析	ウミウの種の多様性に関する情報がないため、DNA解析により遺伝的多様性を調査した。	かみね公園管理事務所
39	茨城大学	教育ボランティア支援事業	茨城キリスト教大学、茨城大学に教育ボランティア募集案内の協力を依頼し、応募した学生を採用した。学生は日立市内の市立幼稚園、認定こども園、小学校、中学校、特別支援学校で学習指導の補助等のボランティア活動を行った。	指導課
40	茨城大学	緊急学校教育活動支援事業（有償ボランティア）	新型コロナウイルス感染症対策のため学校現場で新たに必要となった消毒作業等の業務に対応する有償ボランティアを募集し、学校に配置した。大学生の参加者を募ることで、アルバイト収入が減った学生の生活を支援した。	指導課
41	茨城大学	図書館資料の相互貸借	市立図書館と大学図書館において互いの所蔵資料の相互貸借を実施した。	記念図書館
42	茨城大学	教育相談員研修会	茨城大学の教授を講師として、教育相談員向けの研修会を実施した。 【内容】 「教育相談を行う際の留意点」	教育研究所
43	茨城大学	道徳科指導法研修会	日立市道徳教育研究部との共催で、茨城大学の教授を講師として、教職員向けの研修会を実施した。 【内容】 「道徳科の授業づくり」	教育研究所
44	茨城大学	幼児教育と小学校教育の接続のための研修会 「保幼小の連携・接続に向けて」	茨城大学の教授を講師として、保育園・幼稚園・小学校向けの研修会を実施した。 【内容】 「保幼小の連携・接続に向けて」	教育研究所

令和3年度大学連携事業実績

No.	大学名	事業名	概要	担当課
45	常磐大学	自治体連携講座「自治体経営論」への講師派遣	自治体連携講座「自治体経営論」において、講座を実施した。 【題目】 「自治体のシティプロモーション政策」	シティプロモーション推進課
46	常磐大学	日立市男女共同参画に関する大学生アンケート調査	第4次ひたち男女共同参画計画策定にあたり、大学生世代を対象とするインターネット調査を行い、男女共同参画社会の形成促進に必要な情報収集を行った。	女性若者支援課
47	常磐大学	男女共同参画セミナー①	常磐大学の教授を招き、戦前戦後30年以上に渡った女性たちの努力と権力拡大に理解を示した男性たちの努力や、今日までの男女共同参画に向けての歩みを学んだ。 【講演題目】 「男女共同参画事始め～明治から昭和を振り返る」	女性若者支援課
48	常磐大学	男女共同参画セミナー②	常磐大学の教授を招き、男女雇用機会均等法が施行されてから35年、日本の男女平等はどのように進んでいるかを学んだ。 【講演題目】 「世界から日本の男女平等をみると」	女性若者支援課
49	常磐大学	自殺予防講演会	地域自殺対策緊急強化事業として、市民、障害者相談員、障害福祉・介護サービス事業所等を対象に常磐大学の講師を招き、「自殺予防講演会」を行った。 【講演題目】 「自殺問題や心の病気について正しい知識と理解を深める」	障害福祉課
50	常磐大学	児童虐待防止講演会	常磐大学の教授を講師に迎え、小・中学校及び特別支援学校教諭や要保護児童対策地域協議会委員等が虐待防止に関する基本的な知識を学ぶ機会として講演会を開催した。 なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事前に講演を収録し、日立市公式YouTubeにより配信した。 【講演題目】 「児童虐待防止に必要なこと～地域連携の課題と今後のあり方～」	子育て支援課
51	常磐大学	資格取得準備講座	常磐大学の准教授を招き、認知症についての基本的な知識や症状に対する対応の仕方、コミュニケーションのとり方などを検定試験の内容を通して学んだ。 【講座題目】 「認知症ライフパートナー検定～3級を目指して～」	女性若者支援課
52	常磐大学	図書館実習生の受入れ	図書館の貸出や返却等のカウンター業務を始めとする図書館業務を学んでもらうため、実習生の受入れを行った。	十王図書館
53	常磐大学	緊急学校教育活動支援事業（有償ボランティア）	新型コロナウイルス感染症対策のため学校現場で新たに必要となった消毒作業等の業務に対応する有償ボランティアを募集し、学校に配置した。大学生の参加者を募ることで、アルバイト収入が減った学生の生活を支援した。	指導課

令和3年度大学連携事業実績

No.	大学名	事業名	概要	担当課
54	筑波大学	筑波大学大学院デザイン学学位プログラム（演習授業）への参加、協力	「かみね公園の活性化」をテーマに、学生が課題や解決策を提案する学位取得プログラム（演習授業）に参加し、学生の調査研究活動を支援した。	拠点事業推進担当
55	筑波大学	茨城県・日立市女性のヘルスケア地域医療学寄附研究部門事業	筑波大学において、産婦人科医師が不足している県北の中心都市である本市を基点として、地域医療における女性のヘルスケア全般について対応する産婦人科医療体制のあり方に関する研究を行うことにより、その成果を日立総合病院地域周産期母子医療センターの再開等に資する。	地域医療対策課
56	筑波大学	産学官連携研究開発補助事業	県北地域中小企業が大学等と共同研究契約等と締結して実施する研究開発に係る経費を補助した。	商工振興課
57	大正大学	男女共同参画をすすめるつどい2021	男女共同参画強調月間の中核事業として実施するもので、男女共同参画社会の形成促進に関する理解を深め、市民の意識の高揚を図るためにケーブルテレビやYouTubeを活用した講演会を行った。 【内容】 「男性の生きづらさから考える 性別にとられない多様な生き方」	女性若者支援課
58	郡山女子大学	ドメスティック・バイオレンスを考えるパート23	郡山女子大学短期大学部の准教授を招き、新型コロナウイルス感染拡大により増加が懸念されているDVと児童虐待について、被害者の心理を考えながら支援者がどのように向き合っていけばよいかを学んだ。 【講演題目】 「DVと児童虐待 ―コロナ禍の現状―」	女性若者支援課
59	東京海洋大学	エコフェスひたち環境講演会	東京海洋大学の講師を招き、市内の小学4年生から6年生を対象とし、新型コロナウイルス感染症対策のため開催中止とした「エコフェスひたち2021」の代替として、「エコフェスひたち環境講演会」を開催した。	環境政策課
60	ノースカロライナ州立大学（米国）	産学官連携研究開発補助事業	県北地域中小企業が大学等と共同研究契約等と締結して実施する研究開発に係る経費を補助した。	商工振興課
61	東洋大学	中里地区における「フィールド調査実習」の受入れ	東洋大学国際学部の授業「フィールド調査実習」の一環として、中里地区の地域住民とコミュニケーションを図りながら、地域の課題解決に向けた検討や地域資源の発見・再評価などを行った。今年度は、新型コロナ感染拡大の影響により、現地実習は行わず、全てオンラインでの実施となった。	農林水産課
62	聖心女子大学	かみね動物園チンパンジー集団の変化と葛藤管理行動	チンパンジーは、別の集団に移ったことにより集団に生じた大きな変化に伴って、集団のメンバーたちの行動、特に葛藤管理行動に変化が生じているのかを研究した。	かみね公園管理事務所

令和3年度大学連携事業実績

No.	大学名	事業名	概要	担当課
63	山梨大学	発達障害の理解と支援 研修会	山梨大学大学院の准教授を講師に招き、保育者や教職員、市民を対象とした研修会を実施した。 【題目】 「特別な支援を必要とする子どものコミュニケーションと感情のコントロールを育むための個別的な配慮と支援の工夫」	教育研究所